

ダリア  
Dahlia  
(キク科)

メキシコ原産の球根(塊根)切り花。小輪は古くから生け花に使われていたが、大輪は主に花壇の花として利用されてきた。今では品種改良が進み、大～巨大輪は新しい洋花として、ブライダルや花束など用途が広がっている。ほぼ満開で出荷されるので、輸送中に花卉が傷みやすい。バケツや水入り縦箱が用いられるが、水あげは悪く、日持ちは短い。茎が中空で、水につかる部分が腐敗しやすい。日持ち終了の主な症状は花卉の萎凋である。

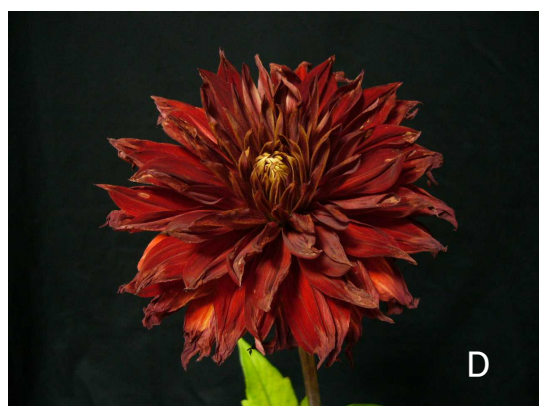
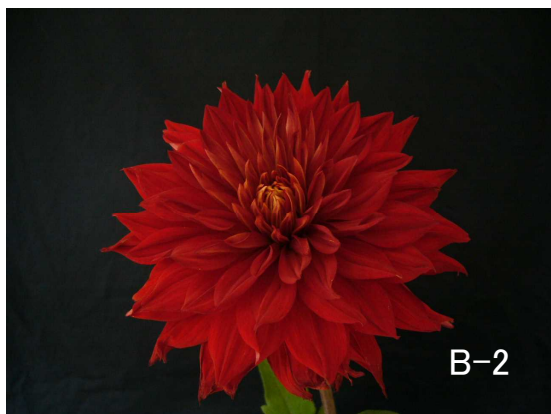
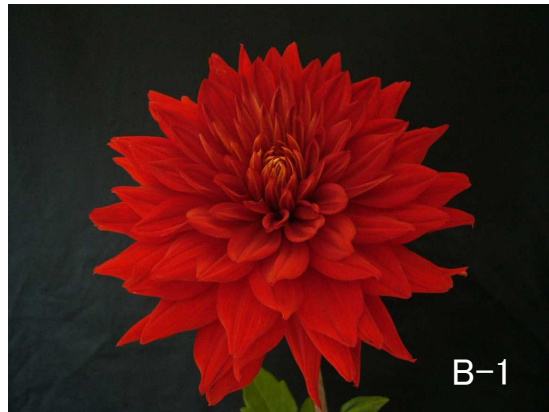
1) 品質評価基準

| 項目      | 判定基準  | 備考                              |
|---------|---|---------------------------------|
| 花卉の萎凋   | A:かたく張りがある<br>B:外花卉が軟らかい<br>C:全体が軟らかい<br>D:全体が萎れ、花径が縮小する                  | 触って判断する。花卉が萎れた後は乾燥してかさかさになる。    |
| 花卉の褐変   | A:発生がない<br>B:最外花卉先が褐変<br>C:内側の花卉先まで褐変<br>D:全花卉が褐変し、変色                     | 黒蝶など暗赤色の品種は褐変が見分けにくい。           |
| 葉の黄変・褐変 | A:黄変・褐変がない(緑色)<br>B:やや黄変、小さな斑点<br>C:葉全体が黄変、やや大きな褐変<br>D:葉が黄変、褐変し、萎れて垂れ下がる |                                 |
| 茎基部の腐敗  | 花瓶から引き上げて、<br>A:変色なし<br>B:切り口のみが変色<br>C:1節が変色<br>D:変色部分がとろける              | 花卉の萎凋、褐変がDの場合には、茎基部もCかDに腐敗している。 |
| その他     | 水揚げの不良  |                                 |

2) 留意点

外側花卉が傷ついている場合は取り除いてから生ける。  
出荷時にすでに葉に褐色の斑点がついていることがある。  
上位3節程度の葉は残すが、それ以下の葉は除去す。  
茎の太さのばらつきが大きいのが、現状では無視せざるを得ない。  
巨大輪は花瓶に1本を生ける。

### 3) 開花



#### 4) チェック事項



D: 水揚げ不良による萎れ



C, D: 茎基部の腐敗・変色